

議会定例会

チャレンジデー 5年連続金メダル獲得 「春の白神ウィーク」の賑わいを報告

6月議会定例会が6月19日から4日間にわたり開催され、上程された13案件について原案どおり可決されました。



行政報告

◆農業関係について

今年の稲作については、春先から、天気が周期的に変わったため、播種時期の違いにより、高温による葉先焼けの障害が出たのが一部にあったものの、田植え作業は、平年並みに5月20日以降から本格的に進み、生育は好天に恵まれたことから、良好となっております。

今後は適切な水管理による茎数の確保が図れるよう、地域振興局農業振興普及

課、JA営農センターと連携しながら、稲作の情報提供に努めてまいります。

今年から主食用米の生産数量は、その目安を提示しておりますが、町全体の目安2,369t、433.9haに対し、実際の作付けは、2,367.02t、428.9haと、ほぼ目安のとおりに生産されるものと見込まれております。

農業災害関連では、5月18日の大雨により、藤琴字板清水地内の水路が損壊いたしました。緊急復旧事業により、営農には支障がないよう、対処しております。

林業関係では、平成27年度より実施しております「木の駅事業」であります。今年度は、4月1日より木の受け入れを開始しております。出荷登録者は、昨年度の16名から18名へと増えてきておりますので、今後も事業の周知に努めてまいります。

例年、この時期の山菜・タケノコ採りの方が被害に遭う、クマによる事故が発生しておりますが、秋田県では、県内全域でクマの出没が確認されていることから、4月23日から7月15日まで、ツキノワグマ出没に関する注意報を発令しております。町といたしまして、地域の目

撃情報の収集や、広報活動により町民に警戒を呼びかけて参ります。

さて、当町も会員となっております「秋田県水源林造林協議会」の総会が、6月5日に秋田市のイヤタカで開催され、冒頭の造林コンクールにおいては、20年生の部で当町の水無造林地が、秋田県水源林造林協議会会長より表彰状をいただきました。

その後の議事において役員改選があり、会長である加藤前八峰町長が勇退し、私が監事から理事に選任され、総会を休憩して理事会を開催し、理事互選の結果私が会長に選任されたものであります。空席となった監事については、森田新一郎八峰町長が選任されました。

石岡鍊一郎前町長も、退任までこの会長を務めていたものであります。

今後、森林環境税等の創設により、山の保全管理が不可欠となっております。それらを担う地方公共団体の役割が非常に重く、大切になって参りますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

◆国民健康保険の税率

「持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律」が平成27年に成立したことにより、これまで市町村が運営してきた国民

健康保険が、今年度から都道府県が保険者となるなど、市町村とともに安定的な国保財政運営や効率的な事業の確保等、国保制度の安定化を目指し実施しております。

当町の平成29年度国保会計において、一般会計からの基金増強という形で15,000千円の法定外繰入はしたものの、決算においては基金からの補填はせずとも、実質収支額57,566千円の黒字となりました。

このことから、今年度県への国保事業費納付金につきましては、税率を据え置きとしても、国保運営は可能と判断し、先の藤里町国保運営協議会においてその旨説明申し上げ、承認されたものであります。

しかしながら、依然として、医療の高度化や高齢化などに伴う医療費の増加により、今後さらに国保財政がひっ迫していくことが想定されることから、収納率の向上対策や医療費適正化への取組など、これまで以上に強化して参りたいと考えております。

◆チャレンジデー2018

今年も、地域住民の健康づくり、まちづくりを目的に、5月の最終水曜日である、30日に「チャレンジデー2018」が全国一斉に開催されました。

当町も、平成26年度の初参加以来、5回連続で参加いたしました。「一致団結して参加率昨年の83.3%以上金メダル」を目標に、当日は多くの町民が早朝からラジオ体操やゴミ拾いウォーキング、各種スポーツや和太鼓など、それぞれ思い思いの趣向を凝らしながら楽しく参加してくださいました。